

発行 北東アジア学会事務局

京都市伏見区桃山長岡越中北町49-1-201 〒612-0056

電話 075-612-6012 / ファックス 075-612-6012 / 電子メール jimukyoku@anears.net / ウェブサイト <http://anears.net/>

今号のヘッドライン

【1面】 第19回学術研究大会の開催概要について

プログラムの概要

【2面】 分科会の概要(案)

【4面】 交通・宿泊案内

【4面】 参加申込について

【12面】 参加申込申込書

締切は、9/7(電子メール)、8/30(ファックス)

【5面】 学会誌編集委員会からのお知らせ

和雑誌「北東アジア地域研究」第20号の投稿論文募集について

英雑誌「Frontiers of North East Asian Studies」第13号(移管第2号)の投稿論文募集について

【5面】 サテライト研究会開催記録

【6面】 理事会・常任理事会議事

第7期第6回常任理事会報告

第7期第7回常任理事会報告

第7期第8回常任理事会報告

【9面】 会員消息

【10面】 事務局からのお知らせ

北東アジア学会第19回学術研究大会の開催概要について

北東アジア学会「第19回学術研究大会」は、2013年9月21日(土)-22日(日)に、島根県立大学浜田キャンパス(浜田市)にて開催いたします。

交通・宿泊案内について →【4面へ】

交通・宿泊の手配は、会員各自で行ってください。

とき 2013年9月21日(土)・22日(日)

ところ 島根県立大学浜田キャンパス(浜田市野原町2433-2)

プログラム

9月21日(土)

09:30-11:30 【理事のみ】 第7期第5回理事会

11:30-12:15 【編集委員のみ】 「北東アジア地域研究」編集委員会

12:30-13:30 【理事のみ】 日韓学会交流のランチ

(学内レストラン「ビューライン」予定)

13:30 受付開始

14:00- あいさつ(大会主催校、学会会長)

14:10- シンポジウム

「北東アジアにおける地域連携構造の衝突

——日中韓FTAとTPPをめぐる——」

報告

中島 朋義 (公益財団法人環日本海経済研究所主任
研究員) 「日中韓FTAとTPP」(仮題)

楊 飛虎 (江西財經大学教授) 「公共投資的适度規模
与经济绩效研究——基于中日韩的实证研究」

他、韓国からの研究者を調整中

コーディネータ

大西 広 (慶應義塾大学経済学部教授)

-18:00 終了予定

18:30-20:00 懇親会(学内レストラン「ビューライン」予定)

参加申込について →【4面へ】

受付は、電子メールで9月7日までに！ファックスなら8月30日までに。

9月22日(日)

09:00-11:00 分科会第1セッション (詳細は次ページ)

11:10-13:10 分科会第2セッション (詳細は次ページ)

13:10-14:10 会員総会

14:10- 分科会第3セッション (詳細は次ページ)

9月23日(月・祝)

エクスカージョン (世界文化遺産「石見銀山」など)

第19回学術研究大会実行委員会(実行委員長:張忠任)

島根県立大学総合政策学部 張忠任研究室内

〒697-0016 浜田市野原町2433-2

電子メール conference2013@anears.net

第19回学術研究大会・分科会（案）

とき 2013年9月22日（日）

開始	終了	教室A	教室B
9:00		A-1 サブリージョンの形成と協働—メコン川地域秩序と中国の存在 司会・討論：吉川 健治（東洋英和女学院大学）	B-1 中国の経済（中国語可） 座長：松野 周治（立命館大学）
9:00	9:40	多賀 秀敏（早稲田大学）：サブリージョンの視点と中緬国境条約	陳 乃佳（島根県立大学北東アジア開発研究科）：中国における金融自由化の新動向について—民間金融の勃興を中心に—
9:40	10:20	峯田 史郎（早稲田大学アジア研究機構招聘研究員）：メコン川流域地域「開発とサブリージョンの再定義	孫 啓明（中国郵電大学）：中国经济的转型压力及其两难选择
10:20	11:00	森川 裕二（富山大学特命助教）：中老関係と国境周辺地域形成	居爾寧（内モンゴル財経大学）：内モンゴルの経済発展過程について
		コーヒープレイク	
11:10		A-2 東アジアの国際関係 座長：若月 章（新潟県立大学）	B-2 中国の財政（中国語可） 座長：唱 新（福井県立大学）
11:10	11:50	魏 志江（中山大學）：日中韓安全保障戦略協力と北東アジア安全保障体制の構成	朱 永浩（環日本海経済研究所）、李紅梅（新潟大学）：中国東北地域の経済発展と財政運営に関する分析
11:50	12:30	松村史紀（宇都宮大学国際学部）：中ソ同盟の共同防衛体制—東アジアにおける同盟の東西比較という視点から—	孫 東昇（中国河南理工大学経済管理学院）：中国の公共財政改革と問題点
12:30	13:10	児玉 修（山形大学大学院社会文化システム研究科院生）：冷戦初期英米の対東南アジア政策とその影響～脱植民地化のプロセスを事例に～（仮題）	張 忠任（島根県立大学）：中国の政府間財政関係の実証分析
		総会（別途、大教室）	
14:10		A-3 北東アジアの政治経済学 座長：尹明憲（北九州市立大学）	B-3 中国経済とTPPの理論問題（英語） 座長：林 堅太郎（立命館大学）
14:10	14:50	笹岡 雄一（明治大学大学院ガバナンス研究科）：北東アジアへのアセアン協調の波及可能（蓋然）性	劉 瑞（中国人民大学）：中国新一轮城镇化进程给中国经济未来带来的机遇与挑战。
14:50	15:30	吉田 真広（駒澤大学経済学部）：北東アジア諸国の国際収支と国際収支の発展段階説	孟 捷（清華大学）：中国改革开放以来劳动力商品化和雇佣关系的发展
15:30	16:10		大西 広（慶応義塾大学）：TPPと理論経済学

分科会の報告順、座長は、コメンテータをこれから決定していくため、変更があることをお含みおさください。

開始	終了	教室C	教室D
9:00		C-1 貿易と国際分業 座長：劉 敬文（桜美林大学）	
9:00	9:40	龍 世祥（富山大学経済学部）：循環型分業のフラクタル構造—北東アジアを事例に—	
9:40	10:20	山本 雅資（富山大学極東地域研究センター）： The effect of cost fluctuation on waste trade and recycling in East Asia	
10:20	11:00	朱 美華（東京大学大学院農学生命科学研究科院生）：中国のコールドチェーン（Cold Chain）の実態と課題—冷凍食品を対象に—	
コーヒーブレイク			
11:10		C-2 計量、産業、地域 座長：小川 雄平（西南学院大学）	D-2 北朝鮮 座長：今村 弘子（富山大学）
11:10	11:50	劉 立至（長崎県立大学大学院経済学研究科院生）、尹 清洙：産業構造の変化と技術進歩がエネルギーインテンシティーに与える影響～中国を例として	三村 光弘（環日本海経済研究所）：朝鮮民主主義人民共和国の新政権の経済政策
11:50	12:30	杜 華（東洋大学大学院）：地域経済における産業集積の形成及び影響-中国陝西省の上場企業を事例として-	李 燦雨（帝京大学短期大学現代ビジネス学科）：中朝の鴨緑江下流域開発の歴史的継承性と差別性
12:30	13:10	穆 堯芋・新井 洋史（環日本海経済研究所研究員）：中国における地域発展戦略の策定プロセス—日本との比較を念頭に	崔 穎麗（島根県立大学院生）：金日成の領導芸術とその影響—金日成の回顧録『世紀と共に』を素材として—
総会（別途、大教室）			
14:10		C-3 経済史関連 座長：調整中	D-3 韓国経済 座長：調整中
14:10	14:50	藤田 法子（大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程）：日中経済交流史～戦後の関西の取り組みを中心に～	尹 清洙（長崎県立大学経済学部）、李鎮勉（韓国産業研究院）：韓国の多地域間経済の相互依存に関する計量分析
14:50	15:30	齊藤 久美子（和歌山大学経済学部）：ロシアにおける会計の変遷と現段階の課題	縄倉 晶雄（明治大学院生）：地域コミュニティ内部における社会ネットワークの相互作用：1990年代以降の韓国農村を事例として
15:30	16:10	ハス（昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程）：戦前の内モンゴルにおける知識人とチングスハーン信仰について	

分科会の報告順、座長は、コメンテータをこれから決定していくため、変更があることをお含みおさください。

交通・宿泊案内

ここでは、おもな情報を提供します。手配は、会員各自でお願いいたします。

浜田のおもなホテル

浜田ワシントンホテルプラザ
 浜田市黒川町4177 ☎0855-23-6111
 washingtonhotel.co.jp

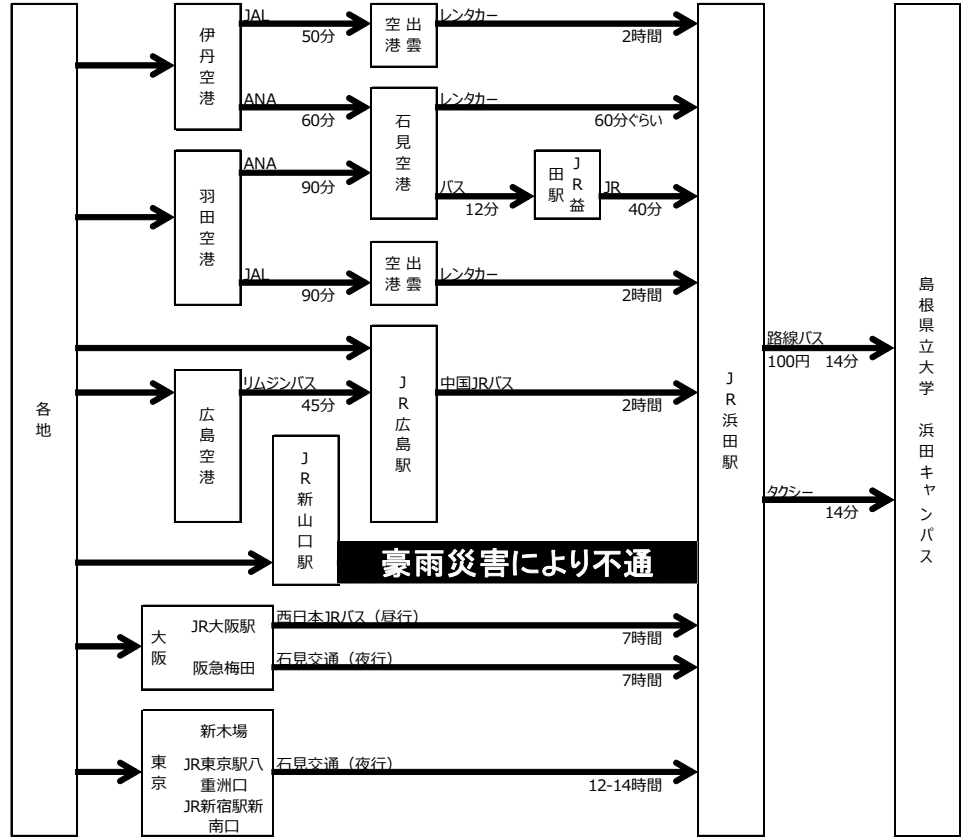
グリーンリッチホテル 浜田駅前
 浜田市浅井町86-19 ☎0855-24-1234
 greenhotels.co.jp

浜田ステーションホテル
 浜田市浅井町64-1 ☎0120-221-330
 pool.co.jp

上記ホテルに、学会としてあっせん
 枠や優待価格の要請はしておりませ
 ん。

このほか、宿泊予約サイト「じゃらん」で、
 「浜田市 浜田駅」で検索すると、市
 内の旅館・ホテルが10件前後ヒットし
 ます。

浜田までの交通案内



参加申込について

申込方法

今回の大会から、「はがき」による出欠集約は行いません。

「つうしん」45号(本号)の12ページに印刷されております「参加申込書」に、必要事項をすべて記入して、

1. 電子メールで、大会実行委員会 (conference2013@anears.net) まで、
または、
2. ファックスの場合、学会事務局 (075-612-6012) まで、

お寄せください。

同じものを、学会ウェブサイト (<http://www.anears.net/conf/conference2013.html>) から、ダウンロードできます。

なお、印刷された「つうしん」を切断して、ファックスに通すのは、お持ちのファクシミリ機器の故障の原因となりますので、厳におやめください。

申込期限

メールの場合 2013年9月7日土曜日 23:59:59(日本時間)まで

ファックスの場合 2013年8月30日金曜日 17:00(日本時間)まで

学会誌編集委員会からのお知らせ

大会で研究報告された会員をはじめ、積極的な投稿を期待します。

和雑誌「北東アジア地域研究」第20号の投稿論文募集について

本学会の和雑誌「北東アジア地域研究」は、これまで、毎年10月1日を発行日としてきましたが、第19号以降、大会と学会誌の連動を密にし、本学会の学究活動をより活性化するため、大会開催から学会誌発行までのタイムラグを半年程度に短縮しようとするべく、5月31日に変更いたしました。

第19号では、会員への周知期間が短かったことなどもあり、5月31日発行となりませんでした。第20号では、所期の目的を達成するべく、編集作業を進める予定です。

投稿締め切りや発行時期に関するおおよそのスケジュール等は以下の通りです。

投稿資格	会費を完納している会員
投稿締切	2013年11月30日
査読結果の通知	2014年1-2月ごろ
第20号の発行	2014年5月31日
投稿料・査読料	無料(投稿時に会費を完納していること)
詳細	本学会ホームページで投稿規定、編集規定を参照のこと
投稿先・問合せ先	「北東アジア地域研究」編集委員会 henshu-j@anears.net 【松野周治】

英雑誌「Frontiers of North East Asian Studies」第13号(移管第2号)の投稿論文募集について

富山大学極東地域研究センター紀要「Far Eastern Studies」が、2013年10月発行分から、本学会英文学術雑誌「Frontiers of North East Asian Studies」(「FES」)として移管されます。

英雑誌編集委員会では、移管第2号となる「FES」第13号へのみなさんからの積極的な投稿を受け付けています。FESは、本学会会員だけでなく、非会員からの投稿も受け付けます。投稿締め切りや発行時期に関するおおよそのスケジュール等は以下の通りです。

投稿資格 会員はもちろん非会員からも積極的な投稿を募ります

投稿締切	随時受け付けています。移管第2号(通算第13号)の最終締切は2014年4月末です
査読結果の通知	2014年夏ごろ
第12号の発行	2014年10月1日
詳細	本学会ウェブサイトで「Instructions for Authors」を参照のこと
英文校閲	投稿者の責任においてあらかじめネイティブチェックをお願いします
投稿先・問合せ先	「FES」編集委員会 henshu-e@anears.net 【今村弘子】

サテライト研究会開催報告**第3回サテライト研究会(関西企画)**

とき 2013年4月21日(日曜日) 11:00-13:00

ところ キャンパスプラザ京都6階「第1講習室」

報告1 米韓安保同盟関係における相互安保同盟政策 - 韓国の安保同盟関係ポジションの変化期(1964年-1973年)を中心に-

宋 基栄(立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程)

予定討論者 裴 光雄(大阪教育大学)

報告2 冷戦崩壊以後における米朝間の緊張形成要因についての考察 ~ディフェンシブ・リアリズムの観点から
崔 正勲(立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程)

予定討論者 三村 光弘(環日本海経済研究所)

企画 松野周治、中戸祐夫、文京洙(以上、立命館大学)

第4回サテライト研究会(東京企画)

とき 2013年07月20日(土曜日) 10:00-13:00

ところ 日本大学法学部10号館1041教室

報告1 朝鮮族と東アジア(仮)

金雪花(一橋大学大学院)

討論者 大西 広(慶應義塾大学教授)

報告2 「戦後における靖国問題の争点と政教分離」
中村香代子(日本大学・國學院大學栃木短期大学非常勤)

討論者 三土修平(東京理科大学教授)

報告3 「近代日本の『宗教』とナショナリズム~その植民地

朝鮮に与えた影響」

曹 明玉(早稲田大学大学院)

討論者 中村香代子

企画 大西広(慶應義塾大学)

総会・理事会・常任理事会議事**第7期第6回常任理事会報告****概要**

とき 2012年12月16日(日)14:00-17:00

ところ 日本大学法学部3号館322号教室

参加者 名誉会員1、常任理事9、理事1

議題に先立ち、本常任理事会に先立って開催した「富山サテライト研究会in東京」について、意見交換がおこなわれた。そのなかで、企画した今村弘子会員の労をねぎらい、学生奨励賞改革を論議するなかで、その研究報告ができたことは、有意義であった、との意見表明があった。

報告事項**[1] 事務局消息**

山田一隆事務局長から、第7期第3回理事会以降の事務局消息について報告があった。

[2] 学会誌編集委員会報告

松野周治常任理事・和雑誌編集委員長から、「北東アジア地域研究」第19号の編集状況について報告があった。

11月30日までの投稿は6本。第19号限りの特例延長として、12月10日までの投稿意思表示、12月31日までの投稿を受け付けているが、ここに5名。計11本の投稿がある予定。学術研究大会と連動した学会誌の編集は、投稿数という点においては、いっていい達成できたといえる、とのことであった。

また、書評掲載に関する内規を設けたことが報告された。

[3] 地域研究学会連絡協議会報告

今村弘子副会長から、12月2日に開催された「地域研究学会連絡協議会」の総会への参加報告があった。

協議事項**[4] 第19回学術研究大会準備状況**

張忠任会員・第19回学術研究大会実行委員会から、第19回学術研究大会の準備状況について、文書報告があった。

- 交通、宿泊については、事前告知を充分に行うこと、
- 実行委員会では、当該論議を踏まえたテーマ案を再度検討されたいこと、

が、第19回学術研究大会実行委員会への伝達事項として確認された。

[5] 学会設立20周年に向けた取組について

佐渡友哲会長、山田一隆事務局長からの発話により、出席者が、自由に意見交換した。

第20回記念学術研究大会

- 第20回記念大会を日本大学国際関係学部(三島市)で開く。

20周年記念事業

- 「国際コンペティション」のようなことはできないか。優秀な研究者を世界中から呼べないか。
- 各国の北東アジア研究者、機関とつながるような機会ができないか。北東アジア研究者は、北東アジアにしかないわけではなく、欧米にもいる。
- ドメスティックな学会ではないので、英文ウェブサイトは、早急にお金をかけてでもやるべきではないか。
- この間の財政均衡問題もあるので、外部資金のアプライをやっていくことが必要だ。国際交流基金など。
- この学会ができてからの20年間の北東アジアを表現するようなテーマ。「激動の北東アジア」のこれからとか。
- 学会ができて20年ということは、研究の方法論の議論について、もっと議論が深まっていい。
- 北東アジア地域研究の「マーケット」と「競合相手」の存在を考えると、この学会は、北東アジアをフィールドにしていない人にとってもチャーミングな存在となるべき。
- イシューの取りこぼしがないように、作り込みが必要だ。
- 優秀な若人が来なくなるようなプログラミング。
- これまでの大会は、開催主催校にプログラムを委ねてきたが、「編集委員会」と並ぶような、「プログラム委員会」を学会本部に設置し、そこが長期的な大会プログラムのデザインや、プロジェクト研究を推進していくような体制を、この機会に作ってはどうか。
- 時代的なものだけではなく、考え続けなければならないテーマを、「プログラム委員会」のような形で、常任理事会のイニシアチブで継続することが必要だろう。

20周年記念事業の推進体制について

- 若手を中心としたプロジェクト推進体制を作るべきだろう。以上の論議を経て、
- 第20回記念学術研究大会を、日本大学国際関係学部(三島市)で開催する。
- 大西広副会長を中心に、川口智彦会員と連携し、「プログラム委員会」(仮称)の常置を念頭に置きながら、第20回記念学術研究大会プログラムの企画を開始すること、
- 柑本英雄、三村光弘、山田一隆の各常任理事に、フィールドや年齢を考慮した若干の構成員の追加をもって、「学会設立20周年記念プロジェクトチーム」を組成すること、

が、了承された。

[6] 新会員制度設計について【議論のたたき台】

山田一隆事務局長から、新会員制度設計についての「議論のたたき台」が提案された。

おもな論議は、以下の通り。

- 新しい会員制度への以降は、10月に決めた、高額未納会員への対応についての決着が前提となる。
- 年齢、職制、居住地(国内/海外)、によって選択できる会員種別を制約するよりも、「ほしいサービス」のメニューから会員に選択させる方法でもいいのかも。ただし、それも自己責任なので、第6条の厳格適用で、支払いが滞れば、即退

会になるリスクとセットになるだろう。

- 理事選挙の選挙権、被選挙権をどのように付与しておくか。若手の理事が選挙で選ばれるよう制度設計しておくべきではないか。

以上のような論議を経て、今後継続して論議していくことが確認された。

[7] 入会の承認、退会の報告

山田一隆事務局長から、一般会員1名の入会申込について提案があり、事務局提案通り、承認された。

第7期第7回常任理事会報告

とき 2012年12月31日(月)-2013年1月13日(日)

ところ メールもちまわり

協議事項

[1] 入会の申し込みについて

山田一隆事務局長から、一般会員2名の入会申込について提案があり、事務局提案通り、承認された。

確認事項

[2] 第7期第3回理事会議事抄録について

山田一隆事務局長から、第7期第3回理事会(2012年10月13日)の議事抄録が示され、原案通り了承された。

[3] 第7期第6回常任理事会議事抄録について

山田一隆事務局長から、第7期第6回常任理事会(2012年12月16日)の議事抄録が示され、一部字句(用事用語)の修正点が指摘された。修正については、事務局一任とされ、承認された。

[4] 韓国東北亜経済学会2013年年次大会への派遣について

山田事務局長から、韓国東北亜経済学会2013年年次大会への派遣について、概要が示され、派遣参加者の募集について、常任理事への協力要請があった。

第7期第8回常任理事会報告

概要

とき 2013年4月21日(日)14:00-17:00

ところ キャンパスプラザ京都6階「第1講習室」(京都市)

参加者 常任理事8、理事1

報告事項

[1] 事務局消息

山田一隆事務局長から、第7期第6回理事会以降の事務局消息について報告があった。

常任理事から、「高額会費未納会員」への対応に関して、当該「特別措置」の該当者数に関する問い合わせがあった。

[2] 学会誌編集委員会報告

松野周治常任理事・和雑誌編集委員長から、「北東アジア地域研究」第19号の編集状況について報告があった。

次号「第19号」は、発行時期を5月末とする初めての号であるが、大会と連動した締切の設定など、試行錯誤の点多かった。そのため、5月末とした発行時期が6月にずれ込む可能性があることが報告された。このことは、第19号に限ってのことであり、次号以降は、11月末の投稿締切、5月末の発行、のサイクルが安定する見込みであるとのことであった。

今村弘子常任理事・英雑誌編集委員長から、「FES」第12

号の編集状況について報告があった。Special Contributionのほか、Articlesに3名の会員、1名の非会員からの投稿意思表示があった。4月末に原稿を締切、9月末発行予定の計画通り進められる見通しであることが報告された。

[3] 韓国東北亜経済学会報告

三村光弘常任理事から、韓国東北亜経済学会大会の参加報告があった。前日から韓国側の手厚いもてなしを受けたこと、当日も和気藹々とした雰囲気で開催されたことが報告された。また、同行した轟博志会員は、学会誌の雑誌交流についての交渉を、張忠任会員は、浜田での大会参加についての呼びかけを、それぞれ行い、学会外交面でも成果が多かった旨、報告された。

[4] 北東アジア学会学生奨励賞について

山田一隆常任理事・事務局長から、2012/13年度北東アジア学会学生奨励賞について、「該当なし」の報告があった。

協議事項

[5] 韓国東北亜経済学会との雑誌交流について

松野周治常任理事・和雑誌編集委員長から、「北東アジア地域研究」と韓国東北亜経済学会の「豊北亜経済研究」との雑誌交流について、この間の交渉過程に関する報告があり、

「日本北東アジア学会と韓国東北亜経済学会との誌面交流について(覚書)案」が示された。

論議を経て、常任理事から指摘のあった文言の修正などは、編集委員長に一任するものとして、提案された覚書は承認された。

[6] 第19回学術研究大会準備状況

張忠任理事・第19回学術研究大会実行委員長から、第19回学術研究大会の準備状況について、報告があった。

論議を経て、

- 大会のテーマを「変化する北東アジアの課題と展望」、1日目シンポジウムを「北東アジアにおける地域連携構想の衝突——日中韓FTAとTPPをめぐる」とすること、
 - 1日目シンポジウムの登壇者については、中韓の学会からふさわしい論者を派遣してもらうこと、
 - 2日目分科会報告は、5月31日をエントリーの締切、8月20日を予稿集とフルペーパーの締切、とすること、
- が、了承された。また、
- 交通、宿泊については、事前告知を充分に行うこと、
 - 大会のプログラム告知、分科会報告の募集を早急に行うこと、

が、第19回学術研究大会実行委員会への伝達事項として確認された。

[7] 学会設立20周年に向けた取組について

山田一隆常任理事・事務局長から、第7期第6回常任理事会(2012年12月16日開催)で設置された、20周年に向けた取組検討タスクフォースの報告があった。

おもな論議は、以下の通り。

- 20周年事業は、「打上花火」ではなく、30周年に向けた取組を

開始するものとして。

- 単なるアカデミズムではなく、社会的発信力を強く意識した内容と構成を持ちたい。
- 教育憲章は、「研究者の学会の20年から、研究と教育の学会の30年へ」むけた取組と位置づけたい。
- 教育憲章は、本学会の設立趣意書からキーワードを紡ぎながら、「北東アジア地域研究教育」のスタンダードと理念を示すもの。
- この20年の歴史的トピックスを振り返り、解題するような市販本刊行は、現代中国学会でも似たようなことをやろうとしている。
- 本学会は、冷戦構造の崩壊から、日本海を「平和の海」にすることを目指して設立された。しかし、20年後のいま、日本海を平和の海にすることができなかった。「なぜ?」「これからどうするのか?」をきちんと総括する企画は必要だろう。
- 教育憲章で教育のスタンダードを示すというのはおもしろい。「北東アジアを学ぶために」といった教科書に具現化できないだろうか。
- 地域研究のレーゾンデートルを、20周年を機に、本学会としてどのように表現していくのか。教育憲章、教科書、20周年記念大会、といったところで。

以上のような論議を経て、引き続き、もちまわり常任理事会で意見集約を進めた後、議論経過を含めた提案を、次回(第7期第4回)理事会に諮ることとなった。

[8] 入会の承認、退会の報告

山田一隆事務局長から、一般会員1名、院生会員6名の入会申込について提案があり、事務局提案通り、承認された。

なお、うち院生会員5名は、この常任理事会に先立って開催された「関西サテライト研究会」の報告者、参加者であり、若手研究者の陶冶と会員拡張を企図した「サテライト研究会」は、当初のねらいを順調に発揮しつつあることが、出席者で共有された。

会員消息**新入会員 13名**

2013年4月21日 第7期第8回常任理事会承認

会員種別	在住区分	氏名	組織・機関	推薦人
一般	国内	朱 美華	東京大学大学院農学生命科学研究科特定支援員	三村光弘、朱永浩
院生	国内	王 欣	立命館大学大学院経済学研究科	松野周治、山田一隆
院生	国内	宋 基榮	立命館大学大学院国際関係研究科	裴光雄、松野周治
院生	国内	崔 正勲	立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程	三村光弘、松野周治
院生	国内	陳 京林	立命館大学大学院経済学研究科	松野周治、山田一隆
院生	国内	陳 飛	立命館大学大学院経済学研究科	松野周治、山田一隆
院生	国内	藤田 法子	大阪大学大学院経済学研究科	三村光弘、朱永浩

2013年7月20日 第7期第4回理事会承認

会員種別	在住区分	氏名	組織・機関	推薦人
一般	国内	岡 洋樹	東北大学東北アジア研究センター	堀江典生、高橋和
一般	国内	フフバートル	昭和女子大学大学院生活機構研究科	志摩園子、高橋和
院生	国内	児玉 修	山形大学大学院社会文化システム研究科	高橋和、洪慈乙
院生	国内	崔 穎麗	島根県立大学大学院北東アジア開発研究科	張忠任、山田一隆
院生	国内	陳 乃佳	島根県立大学大学院北東アジア開発研究科	張忠任、山田一隆
院生	国内	ハス	昭和女子大学大学院生活機構研究科	志摩園子、高橋和

退会者 6名

2013年4月21日 第7期第8回常任理事会報告

会員種別	在住区分	氏名
一般	国内	山崎 一輝
一般	国内	高橋 直美
一般	国内	李 偉
院生	国内	楊 子震

2013年7月20日 第7期第4回理事会報告

会員種別	在住区分	氏名
一般	国内	五十嵐 暁郎
院生	国内	裴 潤

今回の入会承認、退会報告で会員数は、一般・国内212名、一般・在外11名、院生36名、賛助4団体、特別賛助0団体、計258名・団体となります。

事務局からのお知らせ

[1] 会費納付のお願い

(1) 2012年度会費の納付について

2012年度の会費納付をお願いいたします。先日お送りしました会費納付のご案内で金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、**同封の郵便振替払込票**をご利用ください。

年会費	一般	10,000円
	院生	5,000円
	賛助	20,000円
	特別賛助	100,000円

ゆうちょ銀行郵便振替口座

口座番号 00990-3-117008

口座名義人 北東アジア学会

(2) ネットバンキングに対応した銀行振込の取扱開始について

ネット専業銀行やインターネットバンキングの普及により、金融機関に赴かなくても、資金移動が簡便な時代になりました。こうした時代潮流にかんがみ、第7期事務局から、**銀行振込でも会費納付を申し受けること**にしました。学会事務局が3年ごとに移転する本学会の特性上、全国サービスを展開する金融機関として、ゆうちょ銀行を選定いたしました。せいぜいご利用ください。なお、振込の際には、会員氏名を打電してください。振込手数料は会員各位にご負担をお願いしています。

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その1

銀行名 **ゆうちょ銀行**(金融機関コード9900)

支店名 **ヨシサンハチ 四三八**(支店コード438)

口座種別・番号 普通8097831

口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その2

銀行名 **ゆうちょ銀行**(金融機関コード9900)

支店名 **〇九九**(支店コード099)

口座種別・番号 当座0117008

口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行総合口座(旧・ぱるる)から)

記号 14380

番号 80978311

口座名義人 北東アジア学会

[2] 会費の減免措置等について

学会事務局では、以下の会員について、会費の減免、支払猶予の措置を行っています。該当者は、学会事務局までお申し出ください。

- 東日本大震災被災会員[2012/13年度会費の免除]

[3] 学会ウェブサイト会員専用領域へのアカウントとパスワード

アカウント **anears** パスワード **TOra1001**

(てい・おー・あーる・えー・いち・れい・れい・いち)

学会ウェブサイト会員専用領域では、「環日本海研究」「北東アジア地域研究」の創刊号からのすべての論文をpdf形式で、会員向けに提供しています。ぜひご利用ください。

アカウント、パスワードとも、大文字小文字の違いを認識します。変更時には、「つうしん」にてお知らせいたします。

編集後記

「つうしん」第45号は、通常の春の発行をお休みし、第19回学術研究大会に関する情報を中心に、編成しました。先月末には、島根・山口両県をおそう記録的な豪雨によって、山口県と島根県にわたる萩・津和野地域に甚大な被害が生じております。お見舞い申し上げます。大会開催地である浜田までのアクセスにも支障が出るのかもしれないと心配しておりました。現時点では、JR山口線が長期間不通になるとの情報を得ておりますが、JR山陰本線の米子ー益田間は、通常通りの運行とのことです。新山口ではなく、広島経由ならおいでいただけるようです。来月、浜田で、みなさまにお会いできるのを楽しみにしております。お気をつけておいでください。

【山田一隆】

北東アジア学会・第19回学術研究大会・参加申込用紙

この申込は、参加者全員(プログラムに名前が載っている方も)提出が必要です！

電子メール: conference2013@anears.net / ファックス 075-612-6012

ふりがな、または、Spelling ご氏名	ご所属・職位・職名	
会員種別	ご連絡先 (できるだけメール)	

ご出席の状況

	9月21日(土)	9月22日(日)	9月23日(月・祝)
【理事のみ記入】 理事会	ご出席・ご欠席	【全員記入】 分科会・第1セッション	【全員記入】 エクスカーション
【理事のみ記入】 日韓学会交流のランチ	ご出席・ご欠席	【全員記入】 分科会・第2セッション	
【編集委員のみ記入】 編集委員会	ご出席・ご欠席	【全員記入】会員総会 兼ねて弁当(1,000円)申 込	
【全員記入】 シンポジウム	ご出席・ご欠席	【全員記入】 分科会・第3セッション	
【全員記入】 懇親会	ご出席・ご欠席		